

# 令和6年度 明石市地域自立支援協議会

## しごと部会 リポート Vol.35 令和6年4月23日

発行元：明石市地域自立支援協議会 しごと部会事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター1階）

電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

### 令和5年度 チャレンジウィーク(企業体験実習)を開催しました!

「挨拶をされると挨拶を返してくれたこと、笑顔をもたらえたことが嬉しかった。」



パンの種類を覚えたりと、工程も沢山あり大変だったが楽しいなと思えた。貴重な体験をさせていただけたと思います。

最後はコーナーを任せられ、一人で陳列作業をしたことが自信につながったと思う。みんなに声をかけてもらい、とても心強かった。



身近な明石の街で気軽に就労体験ができる機会を

家族からも「就労を目指していく励みになっている」という声を頂きました

（担当された実習担当者より）初日は緊張した面持ちで、お客様への接し方や言葉使いの難しさに戸惑いがあったが、品出しを通して挨拶やマナーの必要性を学んだと思う。この経験が今後の就職につながってほしい。最終日には、一緒に参加していた利用者さんと仲良くなり、2人で連携のとれた動きが出来ていた。良い経験になったと思う。

令和5年度は、10月～翌年2月を実施期間として、明石市内のマクドナルド・コープこうべ・リュミエール・永楽堂・あかし市民図書館の5つの企業の協力を得て、市内10箇所の就労継続支援B型事業所に通所される17名の利用者さんがそれぞれ3日間の企業実習にチャレンジされました。

「チャレンジウィーク」は、平成28年から、「身近な明石の街で気軽に就労体験ができる機会を」をスローガンに、雇用を前提としない職場体験実習に取り組みしました。この取り組みは、「障がいのある人が身近な街で自身の能力を活用しはたらく」ということに焦点を当てた活動になります。

「令和5年度のチャレンジウィーク活動報告会について」裏面につづきます

# 令和6年3月19日に、令和5年度チャレンジウィーク活動報告会を開催しました！

## 効果検証 = “効果はあった”

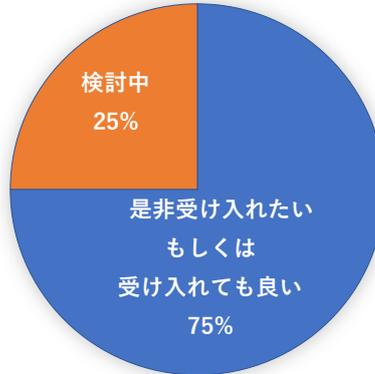
### 利用者の感想

- ・ 正確に丁寧にこなしていくことの大変さや大切さが分かった
- ・ 学んだことを活かして就職を目指したい
- ・ 失敗もあったけど良い経験になった

### 企業の評価

- ・ まじめな姿勢が感じられ、コミュニケーションをしっかりとっていた
- ・ 積極的に作業に取り組んでいた
- ・ 誠意をもって一緒に仕事することができ、実習生の成長を見ることができた。

### 次年度の受け入れの可否

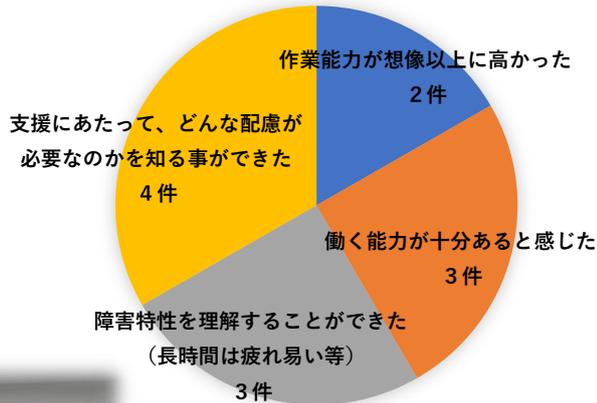


令和5年度 企業への事後評価アンケートより (N=7)



### ▲ 実習受け入れ企業からの振り返り

### 障害のある人への理解が深まった点について



令和5年度 企業への事後評価アンケートより (N=7)

### ▲ 当事者が紙芝居で実習体験談について報告している場面

#### 利用者への実施効果

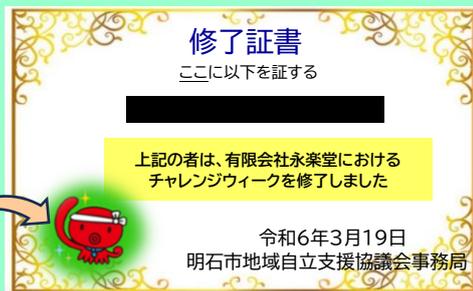
- ・ 就労イメージの確立
- ・ 自己肯定感の向上
- ・ 就労意欲の喚起

#### 企業への実施効果

- ・ 障害に対する理解の深化
- ・ 雇用促進



### ▲ (写真右側の)修了証書の授与贈呈式



お財布や定期券入れに収納できる大きさにしました(^^)

## 令和5年度の活動の振り返り (チャレンジウィークコアメンバーの意見です)

- ・ 支援スキームの活用と検証を実施するために協力企業を5企業(13事業所)とした。
- ・ 相談支援専門員・就労継続支援B型事業所の職員が企画運営から携わることができたが、十分な参加に至らなかった。そのため、活動の継続と更なる周知が必要である。
- ・ チャレンジウィークの報酬請求について、施設外支援(企業内等で行われる企業実習等への支援)と同等の取り扱いとして、位置付けられた。
- ・ 申し込みの出足が遅く、就労継続支援B型事業所の支援員や相談支援専門員等からの強い後押しが必要であった。本人・家族対しても更なる周知が必要である。

